

安全運転サポート車について

～機能を正しく理解して安全・快適な運転を～



安全運転サポート車とは 交通事故防止のための先進安全技術・機能を備えた車です。自動車の先進安全技術は、交通事故防止及び被害軽減に効果が期待されますが、それら先進安全技術が効果を発揮するには、その機能の限界や使用上の注意点を正しく理解し、機能を過信せずに運転する必要があります。

衝突軽減ブレーキ(自動ブレーキ)

カメラやレーダー等を用いて前方の障害物を検知し、一定距離に近づいた場合に自動でブレーキが作動し、衝突の回避又は衝突時の被害軽減を図る装置です。



注意点

走行時の周囲の環境によっては、障害物を正しく認識できないことや、衝突を回避できないことがあります。

【装置が機能しない場合の一例】

- 対応していない高速度で走行中の場合
- 障害物が近すぎる場合
- 悪天候時(大雨・濃霧等)の場合

**機能は絶対
ではない**



誤発進時抑制(踏み間違い時サポート)

ブレーキとアクセルの踏み間違いによる誤発進を回避するための装置で、停止時、低速走行している時や障害物があるところでアクセルを強く踏み込んだ場合に、運転者に警告するとともにアクセルを抑制して急発進を防止します。

注意点

障害物の状況や周囲の環境によっては、障害物を正しく認識できないことや、衝突を回避できないことがあります。

【装置が機能しない場合の一例】

- 障害物がガラスや網目状のフェンスの場合
- 障害物が低い又は細い場合
- 悪天候時(大雨・濃霧等)の場合



自動ハイビーム(オートハイビーム)

夜間走行時、ハイビーム(ライト上向き)とロービーム(下向き)を自動で切り替える装置です。

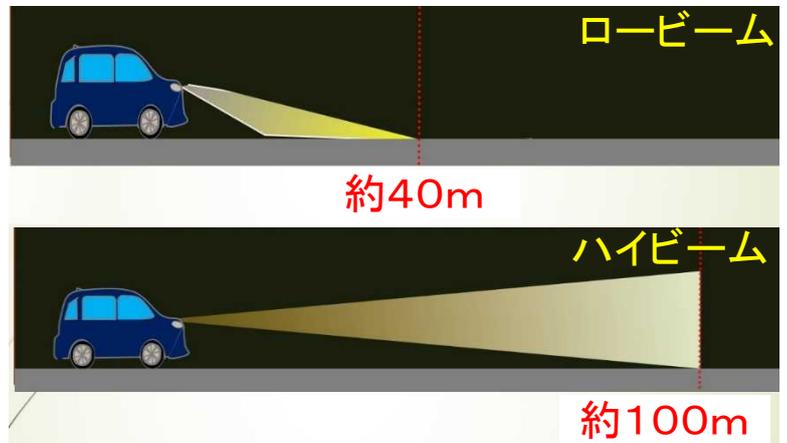
【参考・照射範囲】

- ロービーム 約40m
- ハイビーム 約100m

50m先の見え方の差



照射範囲の差(イメージ図)



注意点

自動切替機能が有効に作動するには、ライトのスイッチ等を適切に設定する必要があります。

また、ライトが切り替わるタイミングは、車種毎に違うことや、周囲の環境により変化が生じ、運転者の意図しないタイミングで切り替わる場合があることを理解した上で、状況によっては「手で操作する必要があることを念頭に、正しく利用しましょう。

その他の先進技術・機能

車線逸脱抑制装置

ブラインドスポットモニター

レーダークルーズコントロール

先行車発進お知らせ機能

標識認識機能

駐車支援機能

車線変更支援

上記は、先進安全技術や機能の一部を紹介したのになります。

自動車メーカーによって機能の名称や性能等には違いがありますので、詳しくは各自動車メーカーのホームページ等でご確認ください。

ポイント

各種先進技術・機能は、走行状況、天候、周囲の状況等により正常に機能しないことがあります。**機能を過信せず**安全運転に努めましょう。